

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年6月15日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年6月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【雑固体廃棄物焼却設備の排ガス補助ブローア吐出フランジの面圧低下について】 当社社員が雑固体廃棄物焼却設備の焼却運転開始前の現場調査を行ったところ、排ガス補助ブローアの吐出側伸縮継手の取付けフランジに、トルク低下および固定ボルトに非回転緩みが生じていることを確認。 同日中に規定のトルク値(90Nm)未満のボルトは、増し締めし規定トルク値になったことを確認。 また漏えい確認を実施し、問題ないことを確認。 原因は、固定ボルトに非回転緩みが生じていたことから、ブローアの振動等によるものではなく、焼却設備の運転・停止における温度変化による熱的影響により面圧が低下したものと推測。 当該箇所は、排ガスフィルターの後段にあることから、フランジ内部の排ガスは、放射性物質を十分除去したもの。 今後、再発防止策を検討する。</p>	G III	6月9日